

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.2

名前

得点

/10

問1 人間のパーソナリティ（人格）の理解において、その人がどのような文化的価値を追求し、何に重きを置いているかに着目し、真理を求めるタイプや他者への愛を求めるタイプなど、6つの価値タイプに分類する理論を提唱したドイツの哲学者は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. シェルドン 2. クレッチマー 3. ユング 4. シュブランガー

問2 1997年に制定され、2009年の改正（2010年全面施行）によって、本人の提供意思が不明な場合であっても、家族の書面による承諾があれば、年齢にかかわらず判定および提供が可能となった、日本の生命倫理に関する代表的な法律は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 母体保護法 2. 臓器移植法 3. 優生保護法 4. 臨床研究法

問3 人間の生涯を発達段階ごとに区分した「人生周期（ライフサイクル）」という概念を提示し、それぞれの段階に特有の発達課題と心理社会的危機が存在すると主張した。特に青年期における最重要課題として「自我同一性（アイデンティティ）」の確立を挙げ、これが揺らぐ状態を同一性拡散と呼んだ、アメリカの精神分析学者は誰か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. エリクソン 2. オルポート 3. フランクル 4. ロジャーズ

問4 生まれや家柄といった属性ではなく、個人の能力や努力、業績（学力や試験結果など）によって社会的地位や評価が決定されるべきであるとする考え方を何というか。なお、日本・アメリカ・イギリス・ドイツ・スウェーデンの5か国を対象とした若者の意識調査では、社会での成功要因として学歴を挙げる割合はいずれの国でも極めて低く、この考え方が単純な学歴至上主義とは異なる形で捉えられている実態が示されている。（2016年 全国公立入試 類似）

1. オートクラシー 2. テクノクラシー 3. プルトクラシー 4. メリトクラシー

問5 現代の大衆社会において、人々は内面的な信念や伝統に従うのではなく、周囲の期待やマスコミの動向に敏感に反応し、他者に合わせようとする傾向が強まるとされる。このような性格類型を「他人指向型（他人決定型）」と呼び、互いに関わりを持ちながらも孤立している現代人を「孤独な群衆」と名付けたアメリカの社会学者は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. テンニース 2. リースマン 3. マルクーゼ 4. ヴェーバー

問6 欲求不満（フラストレーション）に直面した際、理性的・合理的な解決や防衛機制による無意識の調整を図ることなく、他者への八つ当たりや暴力などの短絡的かつ衝動的な行動によって直接的に欲求を解消しようとする反応を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 反動形成 2. 迂回反応 3. 近道反応 4. 攻撃行動

問7 他者の行動を評価する際、その人が置かれた状況や環境に原因があるとは考えず、その人の性格や能力など、自身に原因があるとして帰属させてしまう認知の偏りを何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 敵意帰属バイアス 2. 自己奉仕バイアス 3. 基本的帰属の誤り 4. 偽の合意効果

問8 現代社会の課題解決に向けた情報収集において、文献やインターネットによる調査だけでなく、課題に直接関わる当事者や専門家に対して直接対面やオンラインで質問を行い、生の声や専門的な知見を聞き取る調査手法を何というか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. アンケート 2. インタビュー 3. ワークショップ 4. ディベート

問9 マズローが提唱した欲求段階説において、生理的欲求や安全の欲求、社会的欲求、承認の欲求が満たされた後に現れる、自分の持つ能力や可能性を最大限に発揮して自分らしく生きたいと願う、最も高次の欲求を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 生理的な欲求 2. 社会的な欲求 3. 精神的な欲求 4. 自己実現の欲求

問10 カントの倫理学において、道徳的な義務を果たすことよりも、自らの恐怖の回避や心の平穏といった主観的な欲求を優先し、結果として他者を蔑ろにしてしまうような行為の動機や姿勢を何と呼ぶか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 他人の幸福の促進 2. 自己本位の安楽 3. 自己の生命の保存 4. 自己の才能の開拓

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 4 シュブランガー	人間の精神生活において追求される価値の領域（理論、経済、審美、社会、権力、宗教）に基づき、パーソナリティを6つのタイプに分類した。これは、個人の行動の動機や価値観を理解するための代表的な類型論として知られている。
問2	答え 2 臓器移植法	2009年の改正により、本人が提供を拒否する意思を示していない限り、家族の書面による承諾があれば、15歳未満の小児も含めて判定および提供が可能となった。これにより、それまで本人の書面による意思表示が必要であった要件が緩和され、移植医療の機会が広がる一方で、家族への精神的負担や意思決定のあり方についての議論も続いている。
問3	答え 1 エリクソン	人間の生涯を8つの発達段階に区分し、それぞれの段階における心理社会的危機とそれを乗り越えることで獲得される徳（強さ）を体系化した。青年期においては、自分は何者であり、社会の中でどのような役割を果たすべきかという問いに対する確信である「自我同一性（アイデンティティ）」の確立が最重要課題であると位置づけた。
問4	答え 4 メリトクラシー	イギリスの社会学者マイケル・ヤングが提唱した概念で、出自ではなく個人の能力（merit）と努力によって地位が決まる社会を指す。現代社会においては、これが学歴偏重主義や新たな格差を生む原因として批判的に議論されることもある。内閣府の意識調査において、日本を含む5か国の若者が「学歴」を成功要因として低く評価していることは、単なる学歴という指標を超えた個人の努力や才能が重視されている、あるいは学歴社会に対する冷ややかな視線を反映していると考えられる。
問5	答え 2 リースマン	『孤独な群衆』の著者である。彼は、歴史的な社会の変遷に伴って人間の性格類型が「伝統指向型」から「内部指向型」、そして現代大衆社会における「他人指向型」へと変化したと分析した。他人指向型の人間は、周囲の動向やマスコミのメッセージに敏感に同調することで、内面的な孤独感を和らげようとする特徴を持つ。
問6	答え 3 近道反応	欲求不満が生じた際、人間は様々な方法で適応を図る。理性的・合理的に解決しようとする「合理的解決」や、無意識のうちに心の安定を保とうとする「防衛機制」とは異なり、衝動をコントロールできずに他者への暴力や八つ当たりといった短絡的な行動に走ることを近道反応（ショートカット・リアクション）と呼ぶ。
問7	答え 3 基本的帰属の誤り	他者の行動の原因を説明する際、周囲の状況や環境といった外的な要因を過小評価し、その人の性格や態度といった内的な要因を過大評価してしまう現象を指す。例えば、他者が約束の時間に遅れた理由について、電車の遅延という環境的な要因を考慮せず、「本人のだらしなさ」という内的な要因に原因を求めることがこれに該当する。
問8	答え 2 インタビュー	当事者や専門家に直接働きかけて話を聞き取る手法をインタビュー（面接調査）と呼ぶ。アンケートなどの定量調査とは異なり、対象者の主観的な思いや詳細な背景、文脈などを深く掘り下げて把握する定性的調査手法として有効である。
問9	答え 4 自己実現の欲求	マズローの欲求段階説において、ピラミッドの最上位に位置づけられる欲求である。他者からの評価や集団への帰属といった欲求を超えて、自己の潜在的な可能性を現実化しようとする創造的な欲求を指す。
問10	答え 2 自己本位の安楽	カントは、道徳的行為の動機として、義務感からなされる行為のみに道徳的価値を認めた。自らの恐怖や心の平穏といった主観的な欲求（傾向性）を優先し、他者を蔑ろにする行為は、たとえ表面上は善を求めているように見えても、本質的には自己の保身を優先する姿勢を示している。